

2026まちづくりを考える日 発表団体に寄せられたご質問への回答

No.	質問団体	質問内容	回答欄
1	ミライソウゾウラボ	ミライソウゾウラボ 有料イベントの参加者のペルソナは？ 県外の観光客に訴求させる事は、視野にありますか？	想定しているのは、松江市内・近郊の子育て世代のご家族です。県外の方にもいずれは来ていただきたいですが、受け入れ体制が整っていないため、いまは積極的なプロモーションは考えていません。
2		今、山間地は熊問題で大変ですが、ここは鳥獣絡みのリスクが無さそうなので、それもPRしたら、ひろまりそうですね。今後、どんな展開させたいか、やりたい事は？ 野外音楽イベントなども将来計画にありますか？	これまで大型獣を確認したことはありません。今後の展開については活動と並行して構想中で、音楽イベントもアイデアの一つとして挙がっています。
3		【ミライソウゾウラボ】トイレだけでなく手洗い場が整備されているか知りたい	手洗い場はありません。イベント時には、アルコール除菌やウェットティッシュ、給水タンクで代用しています。
4		ミライソウゾウラボ かわこの朝市のワンコインクルーズは、時間はどれくらい滞在できるのでしょうか？	朝市の開催時間帯は、随時船を出しています。滞在時間は自由です（片道10分）。
5		ミライソウゾウラボの皆さんに質問です！メンバーの皆さんイチオシの狐森島での過ごし方を教えてください！！	おすすめは、焚火やドラム缶ピザを使ったアウトドア飯を楽しみ、ブランコなどの遊具で遊び、時間を忘れてのんびり過ごすことです！釣りもできます。
6		＜ミライソウゾウラボ＞「まちづくりでつながる日」に出ている者です。グループワークには加わることができませんでしたが、発表は拝見していました。その後、何かかしらつながりはありましたか？（団体名が抜けたいたので再送します）	ありました。宍道・竹矢・大庭のまちづくりの現場にお邪魔し、ドラム缶ピザのつくり方や遊び場づくりの事例を教えてくださいました。そのピザ窯は、いま島で活躍しています。
7		ミライソウゾウラボ 島開拓、すごいですね。何かしら一緒に活動したい場合や、つながるためにはインスタグラムでダイレクトメールを送ればいいですか？	はい、InstagramのDMで問題ありません。メールでも承ります。 ・Instagram：@matsue_dreams ・E-mail：mirai.souzou.labo@gmail.com
8		ミライソウゾウラボ 情報発信の方法教えてください！！SNSとか？	主にInstagram（@matsue_dreams）です。
9	みんなの居場所『ぼちぼち』	＜ぼちぼち＞いざ考えると、不登校やひきこもりについて知らないことが多い。説明会等呼んでほしいとのことだったが、ぼちぼちさんと学習会を近々開催することはあるか。	『ぼちぼち』主催というかたちで何かやってみたいという気持ちはあるものの、具体的な予定は現時点ではありません。お声がけ頂いているものはあるので、それらも含めてFacebookページでのお知らせを待っていて頂けると嬉しいです。（アカウントを持っていないでも閲覧できます。） https://www.facebook.com/bochibochikawatsu
10		ぼちぼち足立様 自分で行動を起こそうと思うとても大変だと感じています。協力して活動したい場合や、何かしら支援をしたい場合はどうすれば良いですか。	まずは、お気軽に『ぼちぼち』へ足を運んでみてやってください。発表でも言及した通り、居場所は支援のためのものではないと思っているので、ただ人同士としてつながって頂けることが何よりもありがたいです。
11		ぼちぼちさんへ みなさんが地域へ出るために、私たちにできることはなんですか？	連れ出そうとしないことが大切だと思います。あくまでも本人が出たいと思った時に、低いハードルで出ていけるような優しい地域をつくっておくことしか私たちにはできないと思っています。
12	ぼうさい古志原ネットワーク	【ぼうさい古志原ネットワーク】古志原地区において、こうして活発に防災活動に取り組むことができて背景・原動力は何だと考えておられますか？ ほかの地区でも取り組めるのでしょうか？	地区に住む防災士の有志13人が集まって防災士会を発足させたのが大きかったと思います。防災士個人ではできなかったことが、組織では可能です。古志原9地区には63自治会がありますが、自治会加入率は50%そこそこで、低傾向にあります。また、自主防災組織も5組織ありますが、実際に機能しているかどうか、疑問です。この2つの危機感が、ネットワーク創設の契機となりました。
13		（ぼうさい青木さん）熊本の震災に対して何か活動されますか？	現在は予定しておりません。そこまでの機動力はありません。
14		ぼうさい古志原ネットワークの発足や運営で苦労したところなど教えてください。	自治会連合会など既存6団体への参加要請が大変でした。回覧など文書では即効性がないので、2025年4、5、6月にかけて開かれた各団体の理事会、役員会、総会にお邪魔して直接説明しました。大学、高校へは、要請文書を準備し、各校の責任者にお会いし、説明しました。
15		ぼうさい古志原 非常に重要な取組であると思います。例えば、自治会などで視察に行きたいという希望は受け入れてくれますか？ 活動に可能である場合、どのようにご連絡すると良いですか？	もちろん、意見交換などの機会は大歓迎です。私たちも勉強になります。ご連絡は防災士会事務局にお願いします。
16		【ぼうさい古志原ネットワーク】防災に関する展示会やイベント（防災広場・防災マルシェ）などの今後の予定がありましたら、日付と場所を教えてください。	詳細はこれからですが、11月1日に「防災マルシェ」、同月22日に親子対象の「メディカルラリー」（同実行委員会主催）も予定しています。今後、チラシなどでお知らせします。防災士会事務局にお問い合わせください。
17		【ぼうさい古志原】どういった背景・経緯でネットワークを立ち上げられたのでしょうか？ 防災という共通の問題意識に旗を立てて住民の関係性を培う活動は、防災のみならず、さまざまなまちづくりの土台になると感じました。多くの地域で広がってほしいです。	前述のとおりです。さらには、古志原地区は災害に縁遠いという防災住民意識の低さが指摘されていました。実際に今年1月6日の地震の際、地区の住民防災組織が有効に機能したとは言えない現実もありました。
18		ぼうさい古志原ネットワークさん 地域の皆様の反応はいかがでしょう？	2025年7月のメディカルラリーや、11月の防災広場の参加者が約300人だったことを考えると、そこそこの受け入れが進んだのではないかと考えますが、まだまだです。
19		グラントゴルフ 他地域の人を受け入れる考えはありますか？	現時点では八束町内に限る形で考えている。今後については未定です。
20		グラウンドゴルフ、楽しいですね。1回につきどれくらい集まりますか？	40～50人位です。
21	海の楽校	（海の学校）一番嬉しいと思う貝または推しの貝は何ですか？	日本で一番小さな貝の「ミジンワダチガイ」大きさは0.5mmです。また、初めて島根県で採取した「ダイミョウガイ」かな？
22		微少な貝もあると思いますが、あれだけごみが流れ着くと、プラスチックの破片も混じったりしませんか？ もし混じっていないとすれば、本当に綺麗な海岸で、観光資源として大々的に押し出してほしいです	動画でもお見せしたように、卓越した西北西の波浪と風により、海流に乗って漂着ゴミやマイクロプラスチックも大量に流れ着きます。しかしこれを逆手に取り、『微小貝を採る過程でプラゴミを取り除く体験』そのものを、環境問題をジブンゴトとして捉える最高の環境学習（ビーチクリーン）の場になっています。定期的な回収と学びをセットにした仕組みが得策と考えています。
23		【海の学校】漂着ゴミの清掃はボランティアですか？ 自治体などから支援があるのでしょうか？	海の楽校への支援はありません。海の楽校で学ぶ方々と一緒に時間を決めて清掃しています。ゴミは取りきれませんが、参加者の学びになると思います。また、小波の集落では年に3回程度総出で海浜清掃を行なっています。
24		海の楽校様 情報発信の方法について教えてください！ 活用しているSNSとか	現在は関係者を通じた案内やFBを活用していますが、情報が届く範囲に課題を感じています。今後は、完成した『貝の図鑑』や新設する博物館の視覚的な魅力をフックにし、若い世代や観光客にも届くようInstagram等の活用や、メディアへの露出を本格的に強化していく予定です。

25	海の学校さん 観光事業者さんとの連携はありますか？	現在は具体的な連携は有りません。しかし、『貝の図鑑』という強力なツールができ、博物館という拠点が生まれる今年度を機に、エコツーリズムや体験型観光を企画する事業者様と連携し、『学ぶ・体験する観光』のプログラム化を進めていきたいと考えています。
----	---------------------------	--